

Mac OS 用 Web 版付録 2 R コマンダーのインストール

<Mac OS 専用>

この付録 2 における作業においても、インターネットへの接続環境が必要です。普段お使いになるホームページを閲覧して、お使いのコンピュータがインターネットへ接続できる状態にあることを確認してください。

なお、以下の説明は、次のコンピュータ環境を前提にします。

- 基本ソフト (OS) : Mac OS X 10.6.3 Snow Leopard
- ホームページ閲覧ソフト (ブラウザ) : Safari Ver. 4.0.3
(初期設定のまま、個人的な設定を特にしていないこと)

付録 2 における作業は、次の 2 項目からなります。

1. R コマンダーを Mac OS 上で動かすための補助的なソフトウェアのインストール
2. R コマンダー本体のインストール

補助的なソフトウェアのインストール

【注意】 以下の手順 1 と手順 2 は、Mac OS 用 Web 版付録 1 の手順 2 までと同じです。すでに操作がわかっている方は、手順 3 から始めてください。

1. Yahoo や Google など、普段お使いの検索用ホームページを開いて、次のアルファベットを検索してください。r と cran の間には半角スペースが入ります。

r cran

操作説明図 M2-1 のように、検索結果の上位 (だいたい 3 番目くらいまで) に、次のリンクが見つかります。

[The Comprehensive R Archive Network](#)

操作説明図 M2-1

r cran で検索した結果 1~10件目 / 約3,210,000件 - 0.1秒

[The Comprehensive R Archive Network](#)

このリンクをクリック

Network of FTP and Web servers around the world that store identical, up-to-date, versions of r code, documentation.

cran.r-project.org/

このリンクをクリックすると、操作説明図 M2-2 のウィンドウが開きます。

操作説明図 M2-2

The Comprehensive R Archive Network



CRAN
[Mirrors](#)
[What's new?](#)
[Task Views](#)
[Search](#)

About R

Download and Install R

Precompiled binary distributions of the base system and contributed packages, **Windows and Mac** users most likely want one of these versions of R:

- [Download R for Linux](#)
- [Download R for \(Mac\) OS X](#) ← 2番目のリンクをクリック
- [Download R for Windows](#)

R is part of many Linux distributions, you should check with your Linux package management system in addition to the link above.

2. “Download and Install R” という題がついている一番上の枠にある、次のリンクをクリックしてください。

[Download R for \(Mac\) OS X](#)

“R for Mac OS X” という題がついたウィンドウが開きます。

3. “R for Mac OS X” のウィンドウの下の方にある “Subdirectories:” という項目に、操作説明図 M2-3 の表示があります。一番上の “tools” のリンクをクリックしてください。

操作説明図 M2-3

Subdirectories:



[tools](#)

[contrib](#)

[leopard](#)

[universal](#)

[old](#)

Additional tools necessary for building R for Mac OS X:

Universal GNU Fortran compiler for Mac OS X (see [R for Mac tools page](#) for details).

Binaries of package builds for Mac OS X 10.6 or higher (Snow Leopard build)

Legacy binaries of universal (32-bit and 64-bit) package builds for Mac OS X 10.5 or higher (Leopard build)

Legacy binaries of universal (32-bit) package builds for Mac OS X 10.4 (Tiger build)

Previously released R versions for Mac OS X

4. 操作説明図 M2-4 のウィンドウが開きます。ウィンドウの中央あたりに “Files:” という項目があります。その中の “tcltk-8.5.5-x11.pkg” をクリックしてください。

操作説明図 M2-4



[tcltk-8.5.5-x11.pkg](#) (OS X 10.5+, signed)

MID5-hash: e7c406d91762ffdo4539b23c5b5a3ab4 (ca. 9MB)

[tcltk-8.5.5-x11.dmg](#) (OS X 10.4)

MID5-hash: c32dda1b9f2c2776a02ccc4e03befc76 (ca. 9MB)

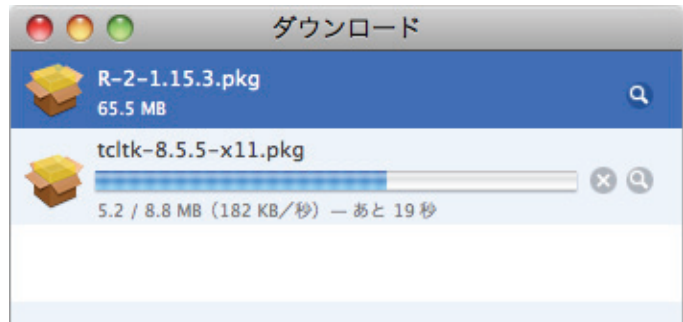
Universal build of Tcl/Tk 8.5.5 for X11 (32-bit and 64-bit). This library is necessary in order to use the `tcltk` R package (for R 2.8.0 - 2.15.3 only!). It installs in `/usr/local`. Requires Mac OS X 10.4 (Tiger) or higher for 32-bit R and Mac OS X 10.5 (Leopard) or higher for 64-bit R.

NOTE: R 3.0.0 and higher comes bundled with Tck/Tk 8.6.0 so you do not need this package

上側の tcltk-8.5.5-x11.pkg をクリック

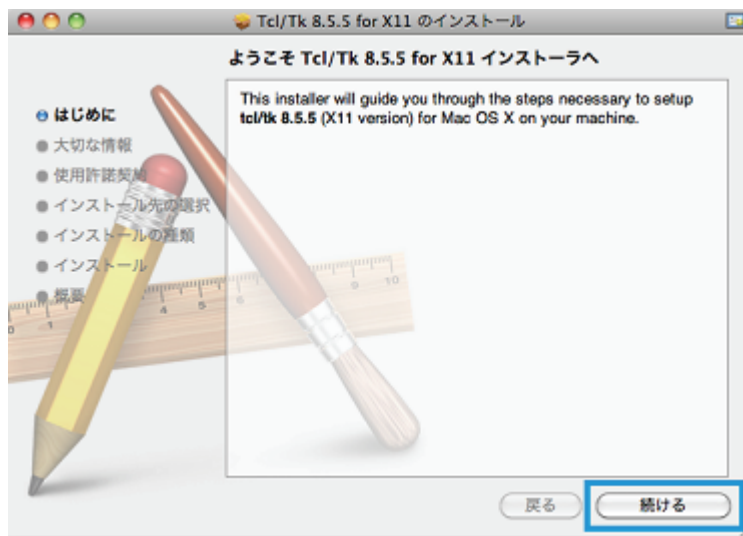
操作説明図 M2-5

5. “tcltk-8.5.5-x11.pkg” のファイルのダウンロードが始まり、作説明図 M2-5 のようなウィンドウが開いてダウンロードの経過が表示されます。



6. ダウンロードが完了すると、目的のソフトウェアである“Tcl/Tk 8.5.5 for X11”のインストールを開始する操作説明図 M2-6 のウィンドウが開きます。

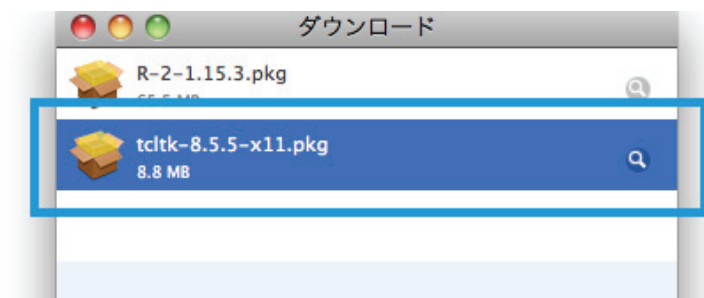
操作説明図 M2-6



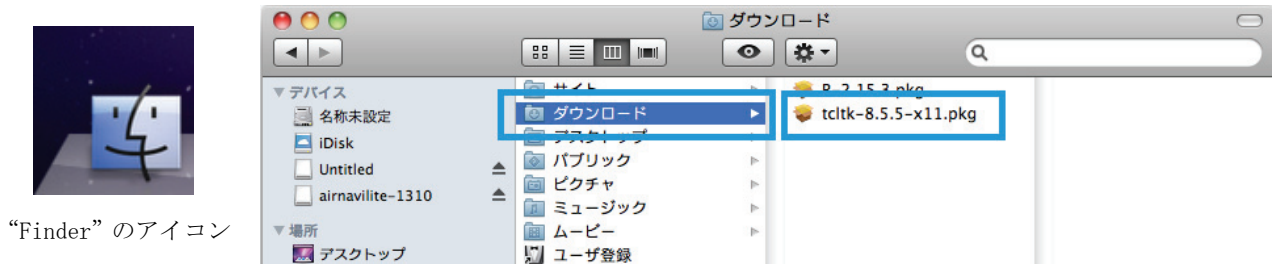
【注意】 誤って操作説明図 M2-6 のウィンドウを消してしまったときは、次のいずれかの操作を行うと、操作説明図 M2-6 のウィンドウが開きます。

- “ダウンロード”のウィンドウで、“tcltk-8.5.5-x11.pkg”のダウンロード結果を表示している箇所をダブルクリック（操作説明図 M2-7 参照）
- デスクトップ上の“Finder”のアイコンをクリックし、表示されるウィンドウで“ダウンロード”のフォルダをさらにクリック。“tcltk-8.5.5-x11.pkg”というファイルが表示されるので、それをダブルクリック（操作説明図 M2-8 参照）

操作説明図 M2-7



操作説明図 M2-8



“Finder”のアイコン

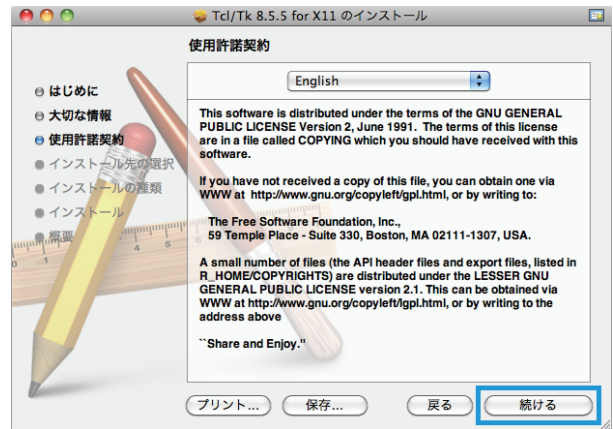
“ダウンロード”のフォルダにある“tcltk-8.5.5-x11.pkg”

7. 操作説明図 M2-6 で右下の **続ける** をクリックすると、以下、操作説明図 M2-9 と M2-10 が順次表示されます。いずれのウィンドウにおいても、右下の **続ける** をクリックします。

操作説明図 M2-9

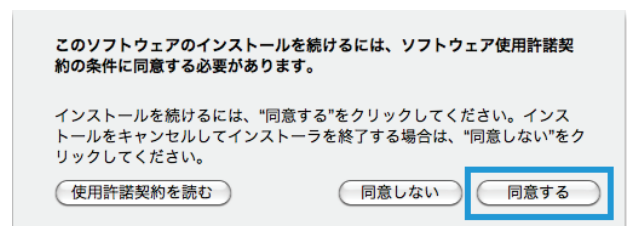


操作説明図 M2-10



操作説明図 M2-11

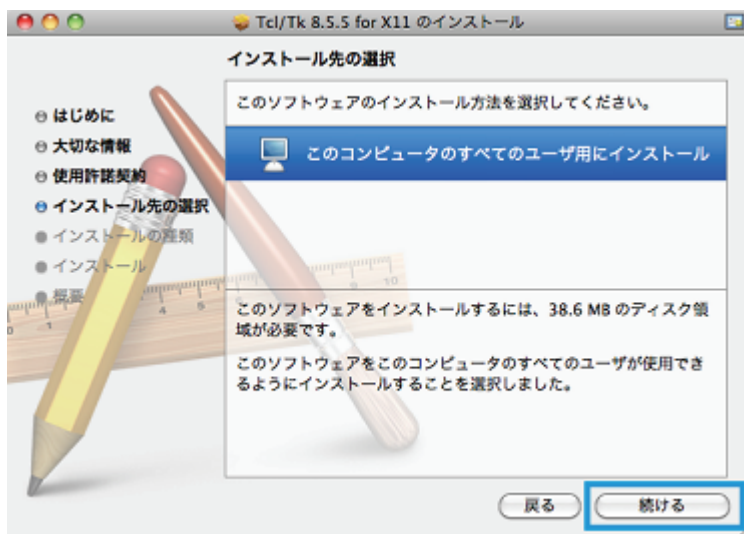
8. 操作説明図 M2-10 で **続ける** をクリックすると、操作説明図 M2-11 のウィンドウが開きます。右下の **同意する** をクリックします。



9. もしも操作説明図 M2-12 のウィンドウが開いた場合は、“このコンピュータのすべてのユーザー用にインストール”をダブルクリックした後、右下の **続ける** をクリックします。

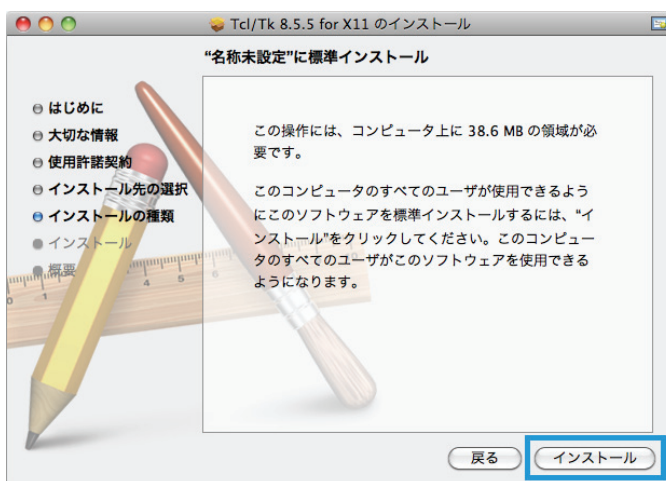
【注意】操作説明図 M2-12 のウィンドウは表示されずに、操作説明図 M2-13 のウィンドウに飛ぶこともあります。

操作説明図 M2-12



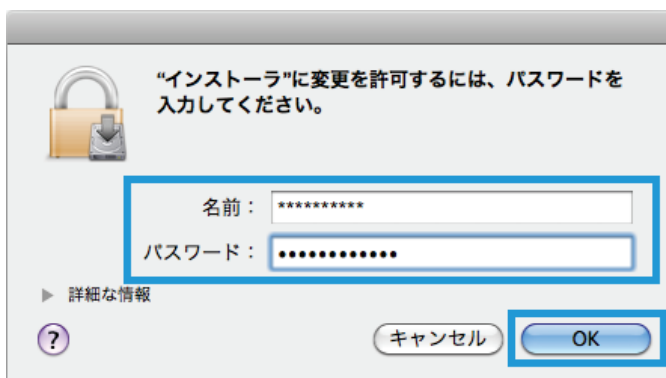
10. 操作説明図 M2-13 のウィンドウが開くので、**インストール** をクリックします。

操作説明図 M2-13



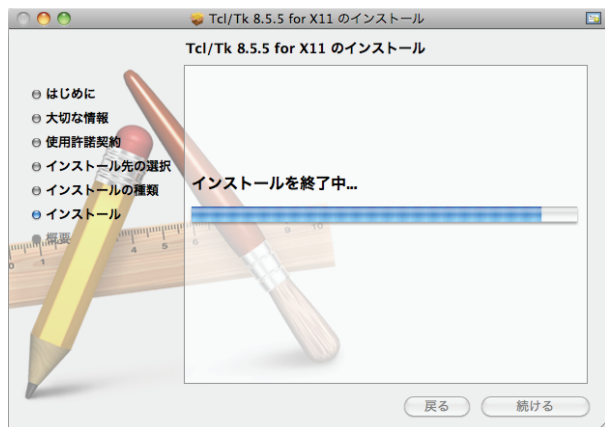
操作説明図 M2-14

11. お使いの機器の設定によっては、操作説明図 M2-14 のウィンドウが表示されることがあります。必要に応じて登録名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

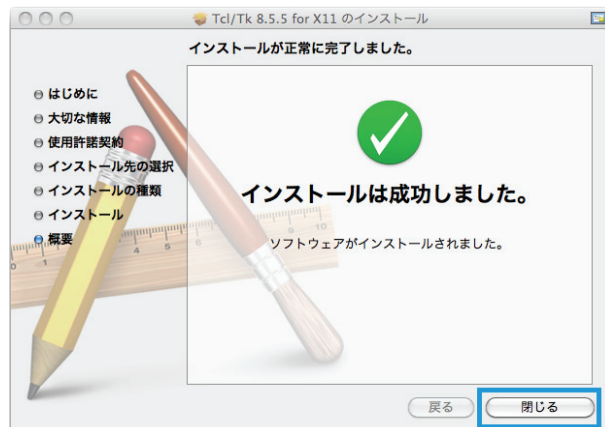


12. 操作説明図 M2-13 で **インストール** をクリックする, または操作説明図 M2-14 で **OK** をクリックすると, ソフトウェアのインストールが始まります. 操作説明図 M2-15 のようなインストール中の表示が出た後, 操作説明図 M2-16 の表示が出れば, インストールは完了です. 右下の **閉じる** をクリックしてください.

操作説明図 M2-15



操作説明図 M2-16



次に, R コマンドー本体のインストールを行います.

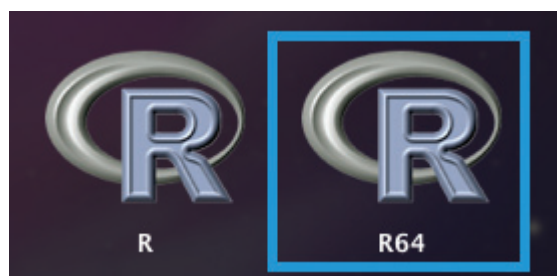
R コマンドーのインストール

1. 操作説明図 M2-17 のデスクトップ上にある“アプリケーション”のフォルダをクリックして開きます. すると, 操作説明図 M2-18 のように, “R64” および “R” というアプリケーション起動用アイコンが見つかります. これらは, Mac OS 用 Web 版付録 1 でインストールした R です. “R64” の方をダブルクリックして R を起動します.

操作説明図 M2-17



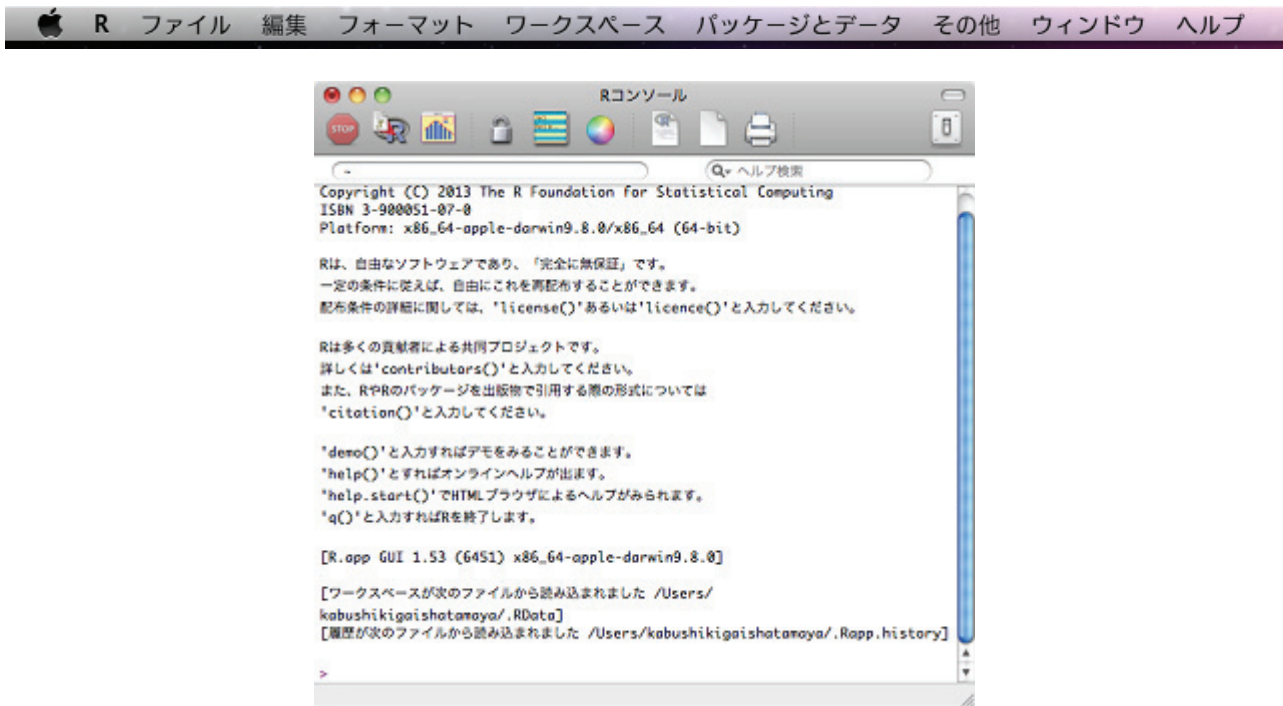
操作説明図 M2-18



【注意】 手順 1 では, 必ず “R64” の方をダブルクリックしてください. “R64” と “R” の違いは, 前者が 64 ビット版であるのに対し, 後者は 32 ビット版であることです. どちらにも「R コマンドー」は組み込めますが, 64 ビット版に組み込んだ方が日本語の表示がきれいになります. Mac OS X 10.6 Snow Leopard よりも前のバージョンの Mac OS では, “R” だけが使えます. その場合でも「R コマンドー」は組み込めますが, 日本語の表示はかなり見づらいものになってしまいます.

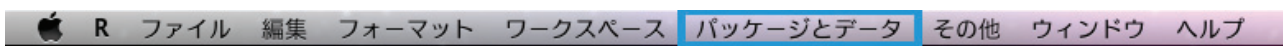
2. R が起動すると、操作説明図 M2-19 の下側のウィンドウが開きます。これを、“R コンソール” ウィンドウとよびます。また、“R コンソール” ウィンドウの適当な箇所をクリックしてアクティブ・ウィンドウにすると、デスクトップ上部の表示が操作説明図 M2-19 の上ようになります。これを“R のメニュー・バー” とよびます。

操作説明図 M2-19



3. メニュー・バーで「パッケージとデータ」をクリックし（操作説明図 M2-20 参照）、表示される選択肢から「パッケージインストーラ」を選びます。

操作説明図 M2-20



操作説明図 M2-21

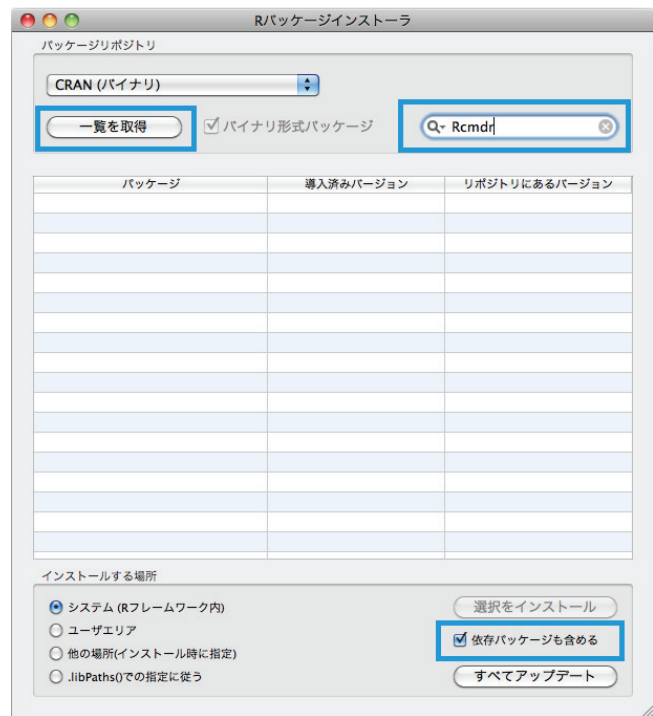
4. 操作説明図 M2-21 の“R パッケージインストーラ”というウィンドウが開きます。まず、右上の虫眼鏡マークがついている検索欄に、半角英字で

Rcmdr

と入力します。次に、右下にある“依存パッケージも含める”にチェックマークを入れます。

以上の設定が済んだら、左上にある

一覧を取得 をクリックします。

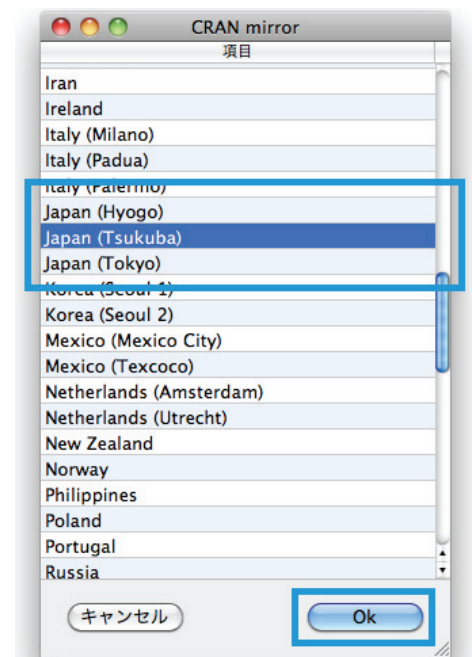


操作説明図 M2-22

5. 操作説明図 M2-22 の“CRAN mirror”というウィンドウが開きます。右側についているスクロール・バーで下を探すと、次の 3 つの選択肢が見つかります。これらは、R コマンドのオプション・パッケージのダウンロード元を示します。

Japan(Hyogo) Japan(Tsukuba) Japan(Tokyo)

3 つの中から好みの場所をクリックして反転表示させ、右下の **OK** をクリックします。



6. 操作説明図 M2-23 のウィンドウが表示されます。これは、オプション・パッケージのダウンロード元を手順 5 で指定した場所に固定してよいかどうかを問うているウィンドウです。通常は **はい** をクリックします。

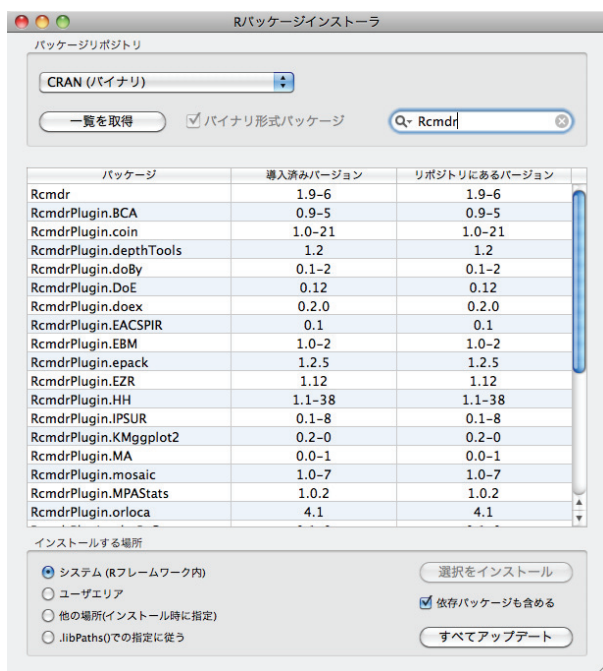
操作説明図 M2-23



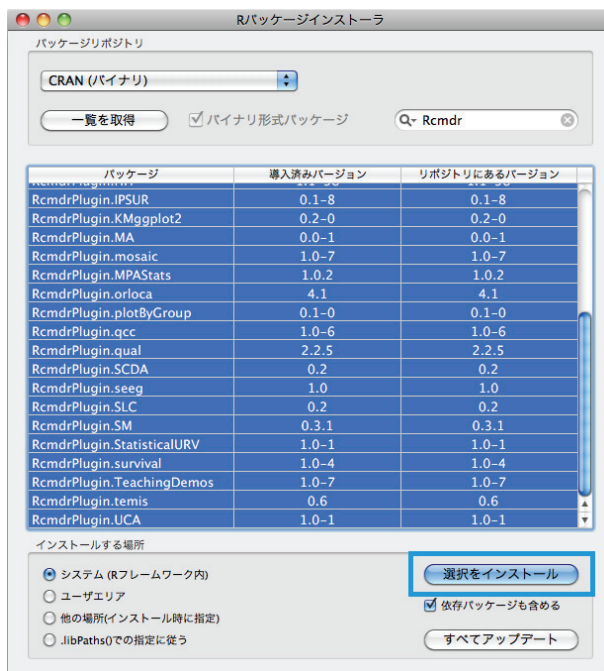
【注意】アクセスの混み具合に応じてダウンロード先を切り替えたい方は、手順 6 で **いいえ** をクリックしてください。その場合、オプション・パッケージのダウンロードを行う手順 3 と手順 4 を実行するたびに、操作説明図 M2-22 のウィンドウが現れます。特定のダウンロード先が混むことは滅多に起きませんので、手順 6 において **はい** をクリックして大丈夫です。

- オプション・パッケージの検索結果が操作説明図 M2-24 のように表示されます。右側についているスクロール・バーを使って一通り見ると、一番上の“Rcmdr”から一番下の“RcmdrPlugin.UCA”まで 30 のパッケージがあることがわかります。これら 30 のパッケージすべてをマウスまたはタッチパッドでドラッグして反転表示させ、右下の **選択をインストール** をクリックします（操作説明図 M2-25 参照）。

操作説明図 M2-24

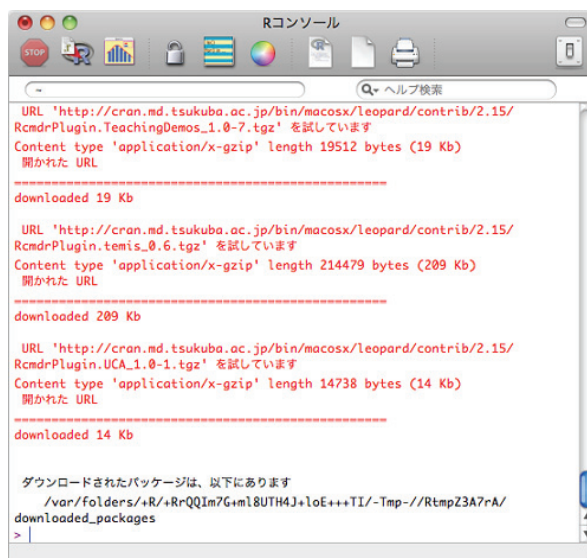


操作説明図 M2-25



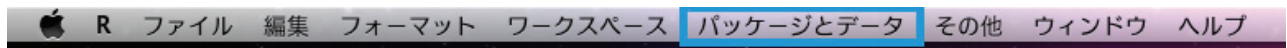
操作説明図 M2-26

- 操作説明図 M2-26 のように、“R コンソール” ウィンドウに赤い表示が次々に現れ、
**“ダウンロードされたパッケージは、
 以下にあります”**（以下英数字）
 という文言の後に > マークが出て止まります。



9. “R コンソール” ウィンドウをアクティブにしてメニュー・バーを表示させます (操作説明図 M2-27 参照). 再度「パッケージとデータ」をクリックし, 表示される選択肢から「パッケージマネージャ」を選びます.

操作説明図 M2-27

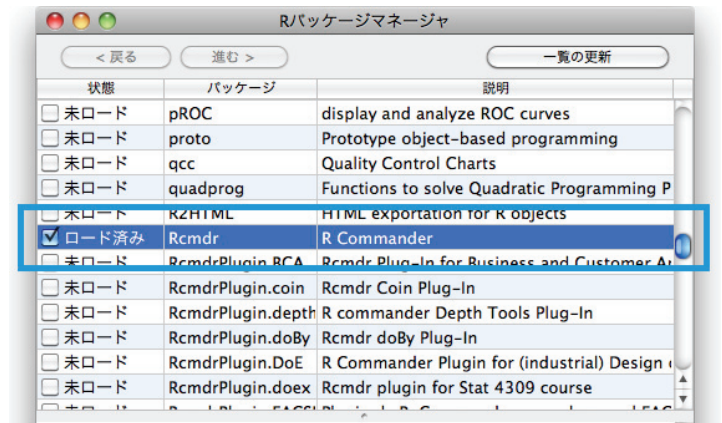


操作説明図 M2-28

10. 操作説明図 2-28 の“R パッケージマネージャ”というウィンドウが開きます. 右側についているスクロール・バーを下にずらし, “未ロード” になっている

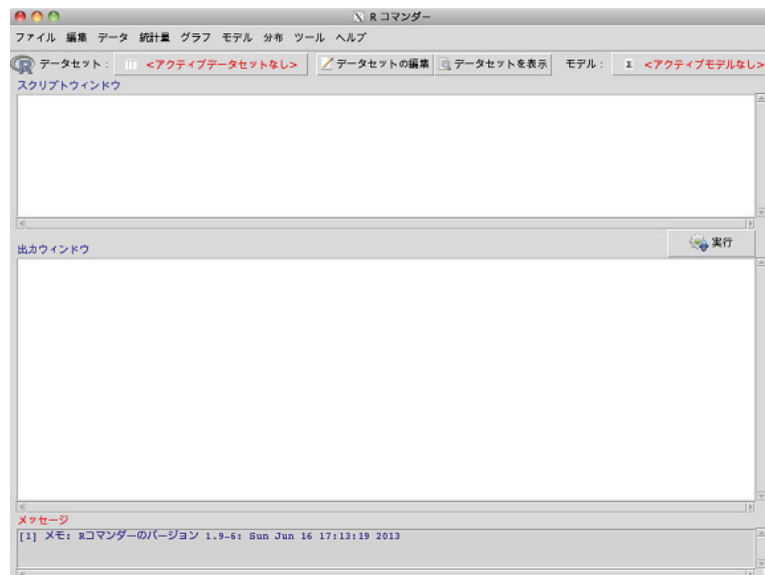
Rcmdr

にチェックマークを入れます.



11. 少し時間をおいて, “未ロード” が “ロード済み” に変わります. それとほぼ同時に, 操作説明図 M2-29 のウィンドウが開きます. これが「R コマンダー」です. このウィンドウが開けば, R コマンダーのインストールは成功です.

操作説明図 M2-29



以上でインストール作業は終了です. R コマンダーの起動と終了方法については, Mac OS 用 Web 版付録 3 をご覧ください.